

# 西東京市市政モニター 令和3年度第3回調査結果

## ●テーマ

「多文化共生」について

- 調査目的 : 国籍・民族・言語・文化の違いをお互いに認め合いながら、日本人と外国人が地域で共に暮らす多文化共生のまちづくりを進めるに当たり、今後の事業の参考とするため。

- 実施期間 : 令和3年12月20日～令和4年1月17日

- 登録者数 : 100人

- 回答者数 : 82人(回答率82%)

※割合の表示については、設問に応じて分母が異なること(回答者数又は全回答数)や、少数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

※自由記述や「その他」の回答については、一部表現を修正・抜粋しています。



令和4年3月

「いこいな」  
©シンエイ/西東京市



西東京市 企画部 秘書広報課

# 目次

西東京市市政モニター回答者及び登録者の属性	1
【多文化共生について】	
問1 「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。	2
問2 日常生活の中で外国人と接する機会はありますか。	3
問3 「①よくある」「②時々ある」と答えた方は、どこで接点がありますか。	4
問4 外国人と交流することに興味がありますか。	5
問5 国際結婚の増加や経済の国際化などにより、外国人の長期滞在化・定住化がみられます。 今後さらに外国人が増えることが見込まれますが、市内に外国人が増えることで、期待できることは どのようなことだと思いますか。	6
問6 「多文化共生センター」を知っていますか。	7
問7 日本人と外国人がお互いに住みやすく、多様な文化や伝統、考え方に触れることができるまちに するために、「多文化共生センター」の役割として、期待することは何ですか。	8
問8 多文化共生に関して、どのような活動、イベント等があれば、参加したいと思いますか。	9
問9 医療、福祉、教育、防災など、様々な分野で「やさしい日本語」の取り組みが進んでいますが、 「やさしい日本語」を知っていますか。	10
問10 今後、「やさしい日本語」をより多くの場面で使われるようにするために必要なことは 何だと思いますか。	11
問11 外国人と地域で共に暮らすとき、難しいと思うことはどのようなことですか。	14
問12 災害等が発生した際、言語の違いにより、外国人が正しい情報を取得するのが困難な可能性が あります。外国人に対してどのような方法での手助けが有効だと思いますか。	16
問13 日本人と外国人がお互いにより住みやすいまちにするために、あなたができることは 何だと思いますか。	18
問14 日本人と外国人がお互いにより住みやすいまちにするために、外国人に期待することは何ですか。	20
問15 日本人と外国人がお互いにより住みやすいまちにするにあたり、市がより充実させるべきだと思うことを 3つ選択してください。	21
問16 その他、多文化共生についてご意見がありましたらご自由にご記入ください。	23

【市政モニターについてのアンケート】

- 問1 市政モニター制度に参加されてどうでしたか。……………26
- 問2 調査票の設問数はいかがでしたか。……………27
- 問3 調査票の内容の難易度はいかがでしたか。……………28
- 問4 2年間で、全5回の調査に御協力いただきましたが、特に印象に残っているテーマはどれですか。……29
- 問5 今後市政モニターの調査で、どのようなテーマについての調査が必要だと思いますか。3つ選択してください。また、調査で具体的に提起してほしいことを思い出す方は併せてご記入ください。……………30
- 問6 その他市政モニターへのご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。……………33



<令和3年度第3回調査 回答者の属性>

全体				(人)	(%)
		男性	女性	合計	回答割合
		41	41	82	82.0
年代	18~29歳	6	5	11	55.0
	30~39歳	6	8	14	70.0
	40~49歳	11	8	19	90.5
	50~59歳	9	10	19	100.0
	60歳~	9	10	19	95.0
地域	北東部	12	8	20	90.9
	中部	5	10	15	75.0
	西部	10	9	19	82.6
	南部	11	12	23	95.8
	市外(市内在勤・在学)	3	2	5	45.5
公募・無作為	公募	11	11	22	73.3
	無作為	30	30	60	85.7

※年代は申込時点の情報を反映しています。

※地域は令和3年9月10日時点の情報を反映しています。

・北東部…ひばりが丘北・北町・栄町・下保谷・東町・中町・富士町

・中部…北原町・泉町・住吉町・田無町・保谷町

・西部…緑町・谷戸町・ひばりが丘・西原町・芝久保町

・南部…南町・向台町・新町・柳沢・東伏見

<市政モニター登録者の属性>

全体				(人)	(%)
		男性	女性	合計	割合
		50	50	100	
年代	18~29歳	11	9	20	20.0
	30~39歳	9	11	20	20.0
	40~49歳	11	10	21	21.0
	50~59歳	9	10	19	19.0
	60歳~	10	10	20	20.0
地域	北東部	13	9	22	22.0
	中部	8	12	20	20.0
	西部	11	12	23	23.0
	南部	12	12	24	24.0
	市外(市内在勤・在学)	6	5	11	11.0
公募・無作為	公募	15	15	30	30.0
	無作為	35	35	70	70.0

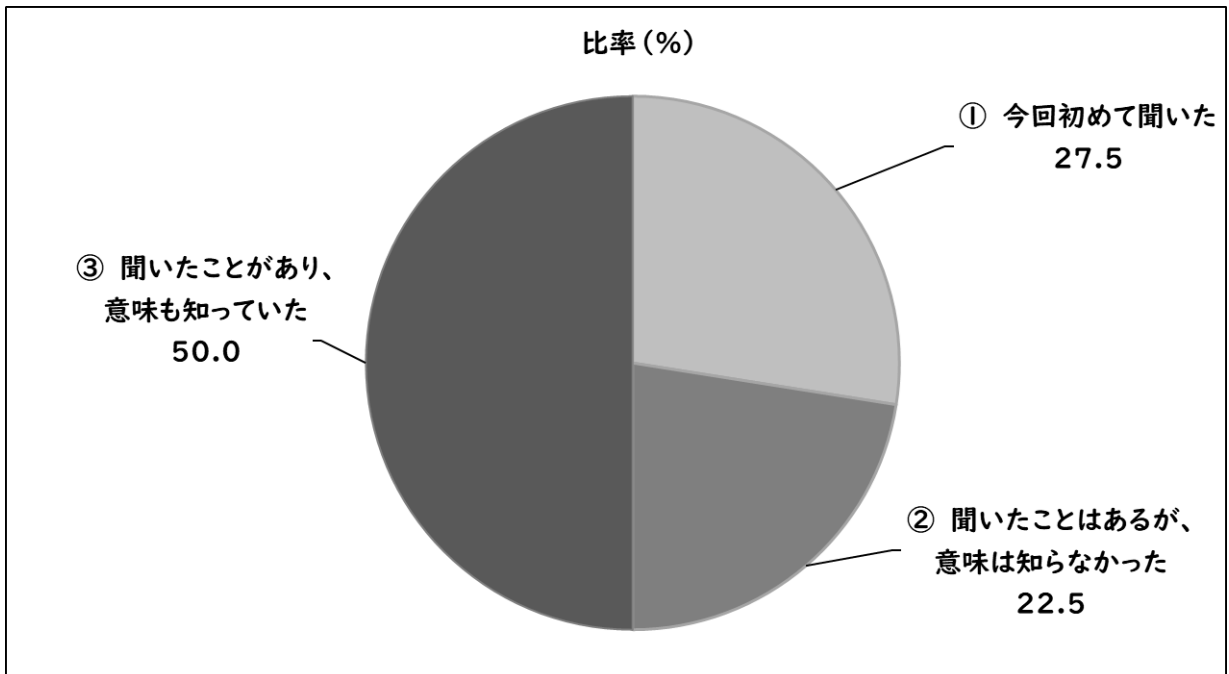
問1 「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。

聞いたことがある人は、全体で72.5%となり、意味も知っていた人は半数となりました。

回答者数(人)80

回答件数(件)80

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 今回初めて聞いた	22	27.5	2
② 聞いたことはあるが、意味は知らなかった	18	22.5	3
③ 聞いたことがあり、意味も知っていた	40	50.0	1



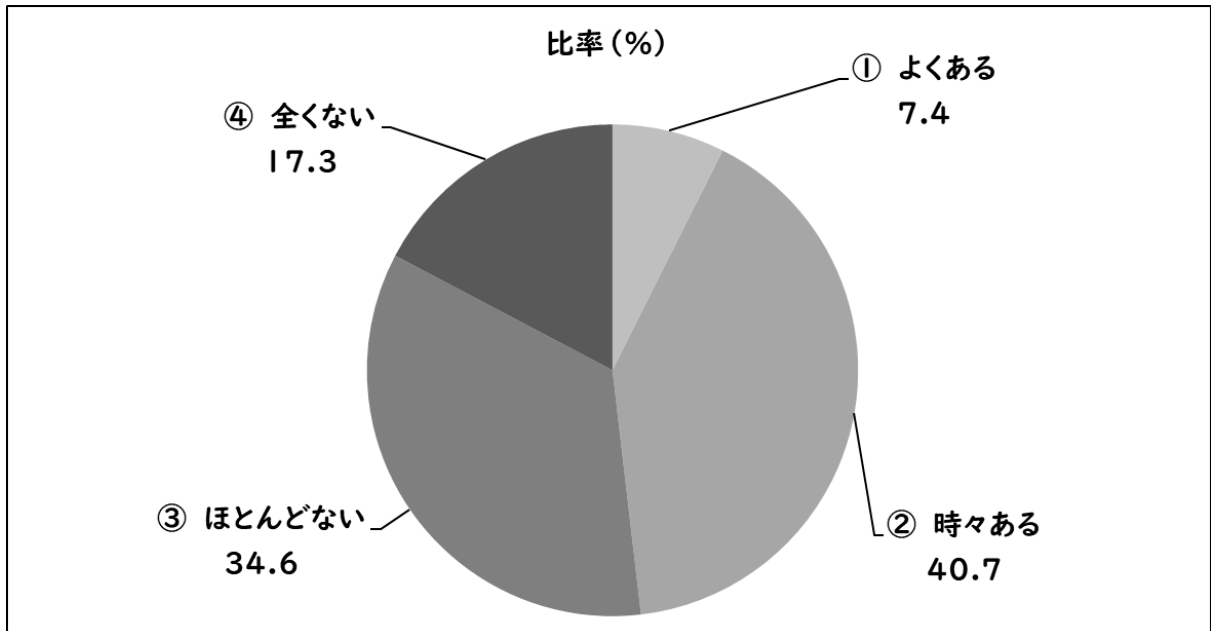
問2 日常生活の中で外国人と接する機会はありますか。

ある人となない人は、おおよそ半数ずつとなりました。

回答者数(人)81

回答件数(件)81

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① よくある	6	7.4	4
② 時々ある	33	40.7	1
③ ほとんどない	28	34.6	2
④ 全くない	14	17.3	3



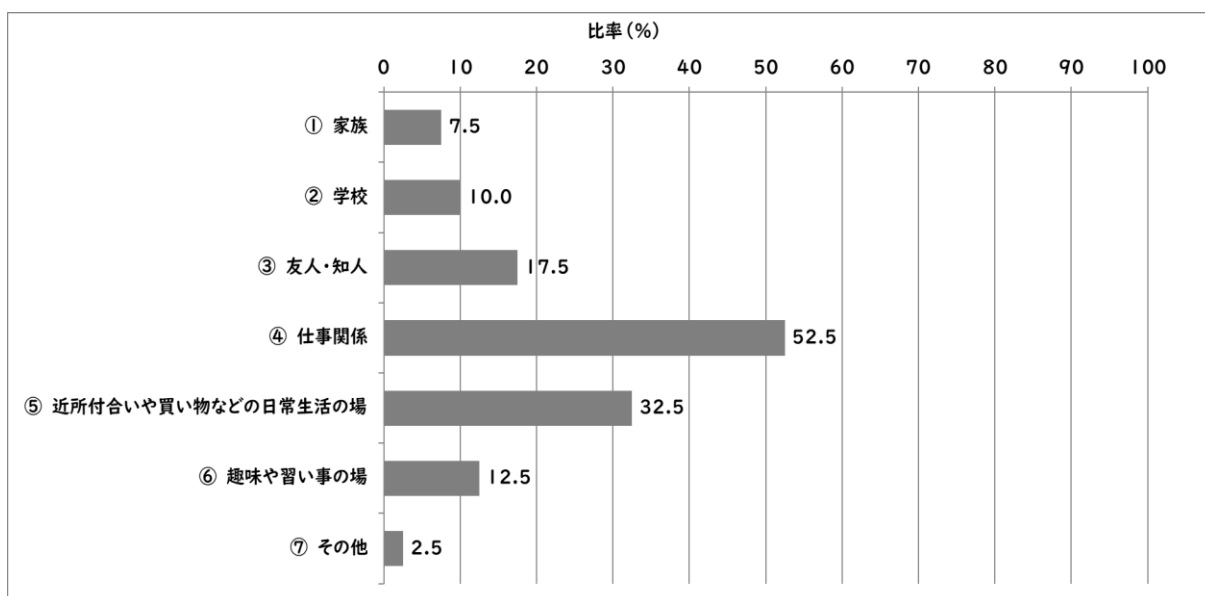
問3 「①よくある」「②時々ある」と答えた方は、どこで接点がありますか。  
(複数回答可)

「仕事関係 21 件 (52.5%)」が最も多く、「近所付き合いや買い物などの日常生活の場 13 件 (32.5%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 40

回答件数(件) 54

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 家族	3	7.5	6
② 学校	4	10.0	5
③ 友人・知人	7	17.5	3
④ 仕事関係	21	52.5	1
⑤ 近所付き合いや買い物などの日常生活の場	13	32.5	2
⑥ 趣味や習い事の場	5	12.5	4
⑦ その他	1	2.5	7



【⑦その他】

- コンビニや飲食店(インドカレー屋さん)の店員さんに外国人がいる時がある。また、スーパーで買い物をしていると外国語が聞こえてくる時がある。接点というほどではないが、外国人も住んでるんだなあと感じる。

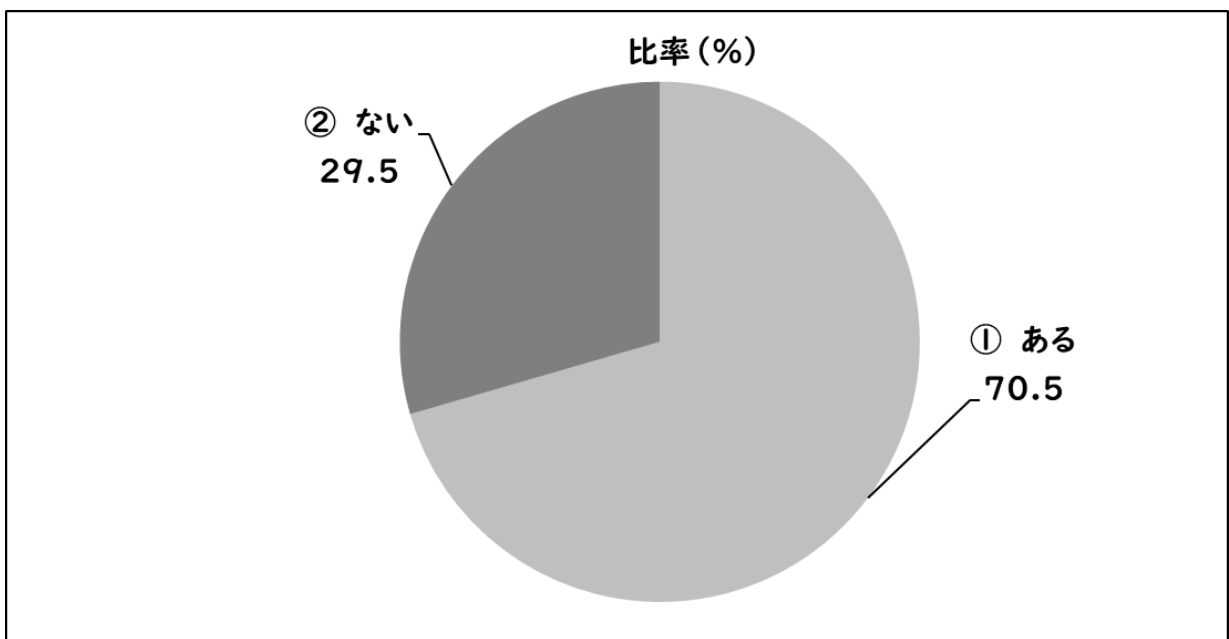
問4 外国人と交流することに興味がありますか。

「ある」が 55 件(70.5%)でした。

回答者数(人) 78

回答件数(件) 78

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① ある	55	70.5	1
② ない	23	29.5	2





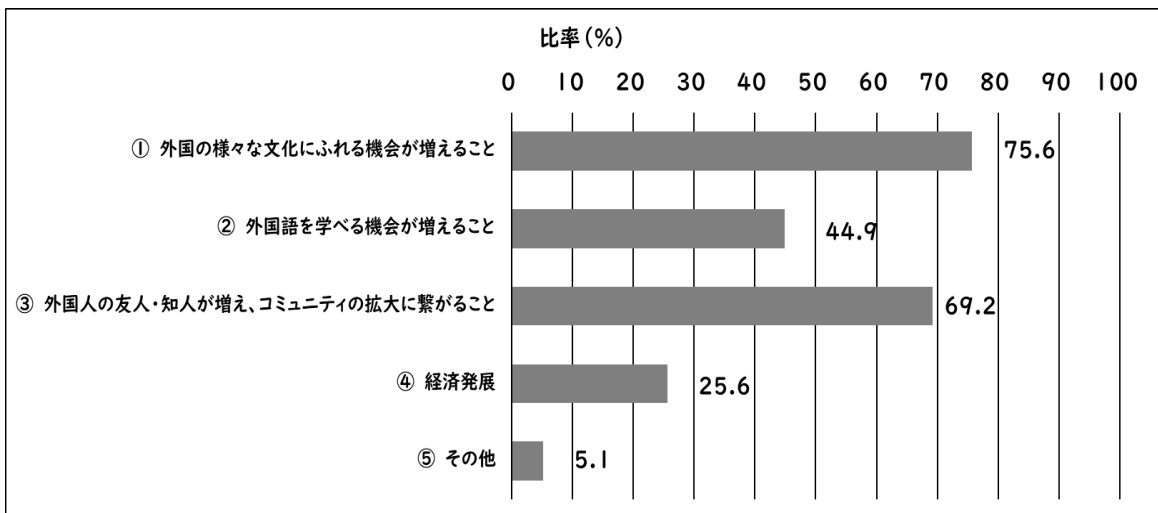
問5 国際結婚の増加や経済の国際化などにより、外国人の長期滞在化・定住化がみられます。今後さらに外国人が増えることが見込まれますが、市内に外国人が増えることで、期待できることはどのようなことだと思いますか。(複数回答可)

「外国の様々な文化にふれる機会が増えること 59 件(75.6%)」が最も多く、「外国人の友人・知人が増え、コミュニティの拡大に繋がること 54 件(69.2%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 78

回答件数(件) 172

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 外国の様々な文化にふれる機会が増えること	59	75.6	1
② 外国語を学べる機会が増えること	35	44.9	3
③ 外国人の友人・知人が増え、コミュニティの拡大に繋がること	54	69.2	2
④ 経済発展	20	25.6	4
⑤ その他	4	5.1	5



#### 【⑤その他】

- 居住者や滞在者が SNS 等で発信することにより、海外の方が東京都や西東京市について知る、興味を持つ機会にもなり得るのではないのでしょうか。
- 労働力
- 国籍、性別、老若、障害の有無、LGBT などそれぞれの違いを認めたくえでの共生社会を目指すには、外国人が増えることで期待する云々の前に、外国人を特別視することのない世の中になればと思います。一人一人が外国人と日本人という壁を作らない意識を変えることが第一と考えます。
- 私はごみの分別も出来ず、外国人だという理由を振りかざしルールを守れない人が増えたり地域の犯罪件数が増えるので賛成はしません。

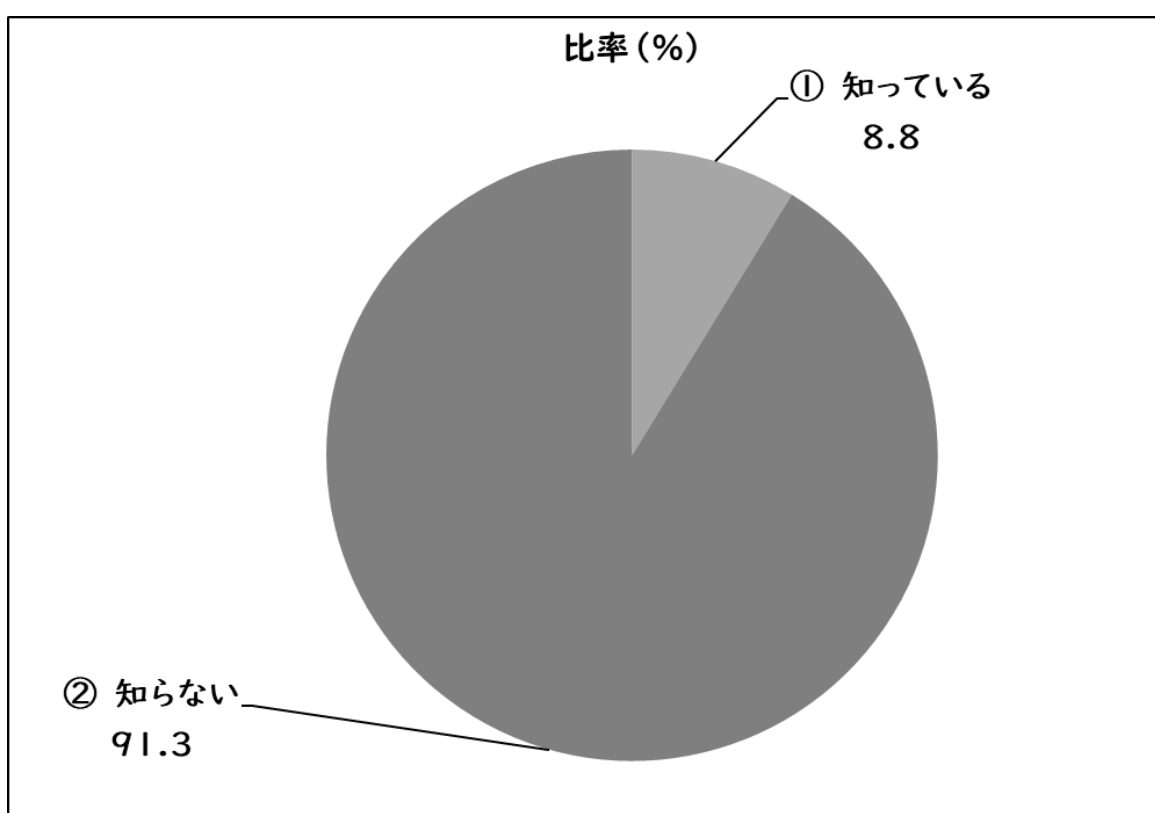
問6 「多文化共生センター」を知っていますか。

「知らない」が73件(91.3%)でした。

回答者数(人)80

回答件数(件)80

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 知っている	7	8.8	2
② 知らない	73	91.3	1



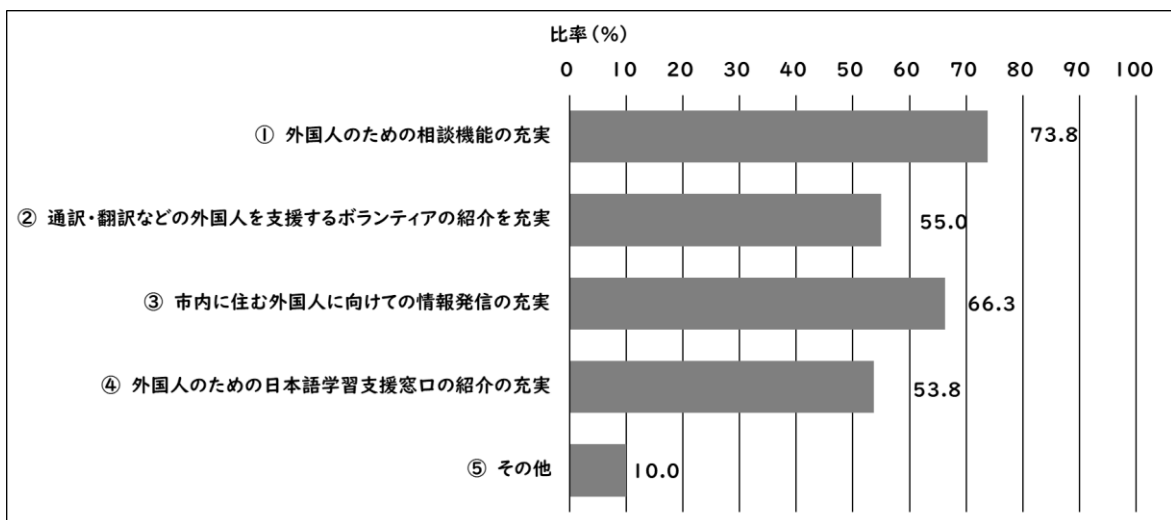
問7 日本人と外国人がお互いに住みやすく、多様な文化や伝統、考え方に触れることができるまちにするために、「多文化共生センター」の役割として、期待することは何ですか。(複数回答可)

「外国人のための相談機能の充実 59 件(73.8%)」が最も多く、「市内に住む外国人に向けての情報発信の充実 53 件(66.3%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 80

回答件数(件) 207

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 外国人のための相談機能の充実	59	73.8	1
② 通訳・翻訳などの外国人を支援するボランティアの紹介を充実	44	55.0	3
③ 市内に住む外国人に向けての情報発信の充実	53	66.3	2
④ 外国人のための日本語学習支援窓口の紹介の充実	43	53.8	4
⑤ その他	8	10.0	5



#### 【⑤その他】

- 外国人と日本人の出会いの場を提供する。
- 日本人と外国人とのポジティブな接点・交流を増やす活動・施策
- なぜ日本にやってきたのか、目的を明確にして頂いた上で判断をしたい
- 外国人が生活するにあたって何を望んでいるかを把握する
- 日本という国がどういう国でどんなルールで国民は住んで居るかをキチンと教える自治体や市役所でのその地域に定住する外国人へは徹底した規則を教える機関。
- 市内在住の外国の方と日本の方との交流の拡充
- ない

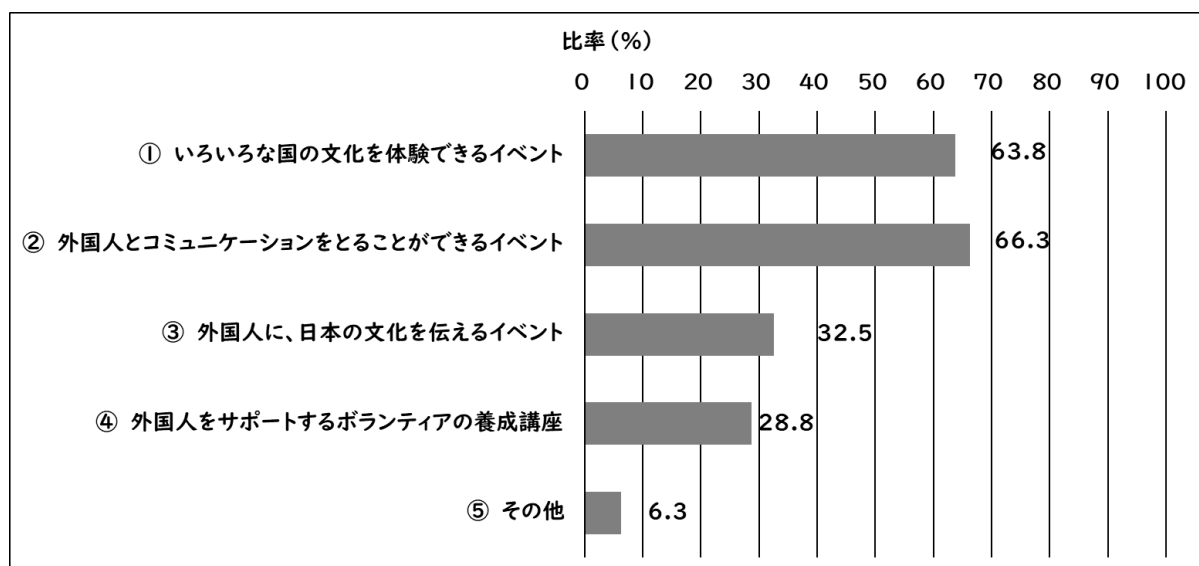
問8 多文化共生に関して、どのような活動、イベント等があれば、参加したいと思えますか。(複数回答可)

「外国人とコミュニケーションをとることができるイベント 53 件(66.3%)」が最も多く、「いろいろな国の文化を体験できるイベント 51 件(63.8%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 80

回答件数(件) 158

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① いろいろな国の文化を体験できるイベント	51	63.8	2
② 外国人とコミュニケーションをとることができるイベント	53	66.3	1
③ 外国人に、日本の文化を伝えるイベント	26	32.5	3
④ 外国人をサポートするボランティアの養成講座	23	28.8	4
⑤ その他	5	6.3	5



【⑤その他】

- 食文化の紹介パーティーなど
- 色んな国の食べ物が食べられるイベント
- 市内の祭りやイベントでの外国料理等の出店があれば利用したい
- 言語が学べるようなイベント
- 子供が参加できるイベントがあれば、そこから親同士、大人同士のコミュニケーションへの発展も期待できるかと思えます。

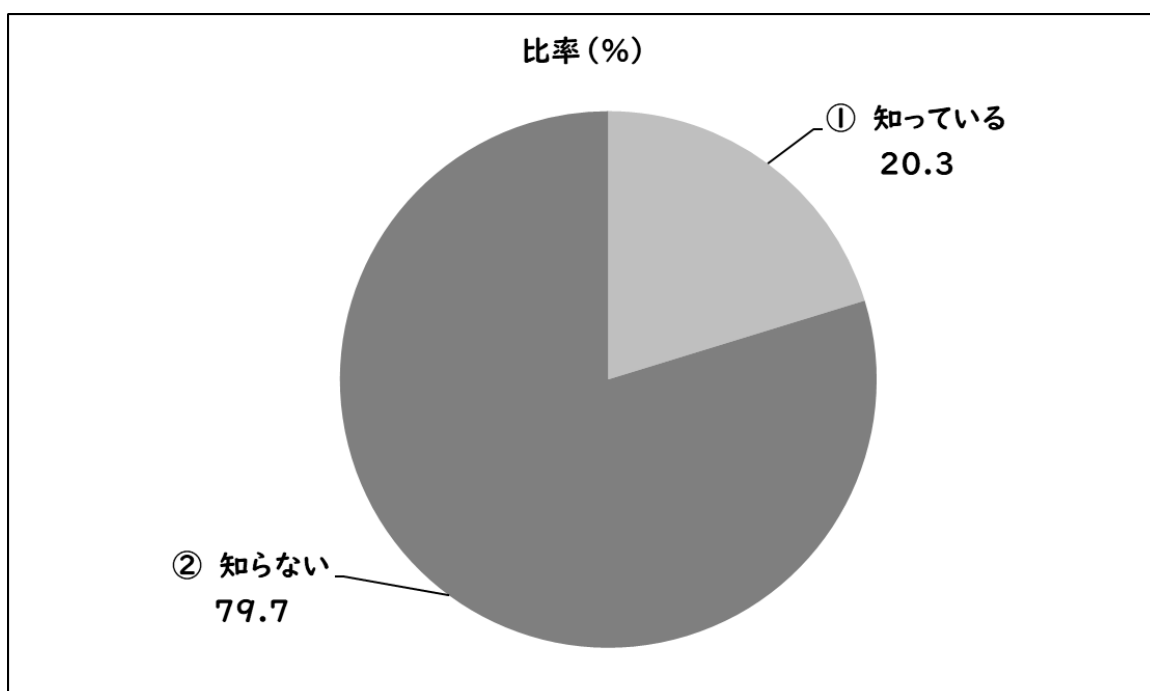
問9 医療、福祉、教育、防災など、様々な分野で「やさしい日本語」の取り組みが進んでいますが、「やさしい日本語」を知っていますか。

「知らない」が63件(79.7%)でした。

回答者数(人)79

回答件数(件)79

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 知っている	16	20.3	2
② 知らない	63	79.7	1



問10 今後、「やさしい日本語」をより多くの場面で使われるようにするために必要なことは何だと思えますか。

【「やさしい日本語」の使い方などを周知】

- 「やさしい日本語」について理解が深められるような冊子などを作成し、配布する（10件）
- 市公共施設や市内商業施設、駅、病院等にポスターを貼る（8件）
- 市民向けに「やさしい日本語」を周知する（7件）
- 市報で周知する（コラム形式で定期的に掲載など）（5件）
- SNS等で周知する（2件）
- 「やさしい日本語」を周知する為の広告。市民はあまり知らないと思います。
- やさしい日本語を使っている意味や目的、背景などを市民に伝える。

【「やさしい日本語」を積極的に使用】

- 市のホームページで周知・使用する（9件）
- パンフレットなどに使用する（5件）
- 市の公共の看板（通りの名称などをしめす看板など）や案内板にやさしい日本語を表記する。（2件）
- 市からの通知などにやさしい日本語を使う（2件）
- 行政が積極的に使って、PRする
- 図書館や公民館などの公共施設の案内表示に「やさしい日本語」を使う。
- 街中の案内マップやガイドに使う。
- 文章とイラストを組み合わせた表現で市内の標識を作る。
- バス会社や鉄道会社に協力してもらい、やさしい日本語で車内アナウンスをしてもらう。
- 市内すべての公共機関にやさしい日本語での表記をする事で、外国人の利用も増えるのでは。また、ひらがな表記も理解できない外国人のケアも必要
- 日本人でもかみくだいて言わないとわからない言葉が多々ありますので、常日頃から「やさしい日本語」を心がけて使用する様にしたら良いと思う。
- CMや新聞などに「やさしい日本語を入れる」

【学校教育】

- 学校教育に取り入れる（5件）
- 小学校、中学校などで実際にやさしい日本語を使用して交流する機会を設ける。（2件）
- 学校で学生向けに周知する。（2件）

## 【イベント】

- 市主催のイベントで周知する(3件)
- やさしい日本語についての講座やイベントを開く(3件)
- やさしい日本語検定
- 外国人とコミュニケーションをとることができるイベントを充実する
- コミュニケーションできる場を多く設ける。

## 【その他】

- やさしい日本語を市民が知ること(3件)
- わからない(2件)
- やさしい日本語を使う意識を育てるための活動
- 情報拡大
- 生活に必要なサービス(行政サービス、公共交通など)は、比較的西東京市在住の外国人構成割合が高い国の母国語(中国語、韓国語、英語など)によるサービス提供が推進できると良いと思う。その他の民間サービス(小売店など)向けは、「やさしい日本語」の周知、広報が必要かと思う。
- 日常で必要としない人が英語や手話を覚えないように、必要としない人、興味が無い人に向けて闇雲に普及を図るのは難しいと思います。インターネットで検索して他自治体の作成資料や紹介サイトを見ましたが、日本人にとっては逆に伝わりにくいようにも感じました。また検索しても「やさしい日本語とは何か」という紹介が多く、解説や具体的な事例が少ないように感じました。自治体が直接取り組むことではないかもしれませんが、やさしい日本語をレクチャ・解説する Web サイト等のメディアの充実、やさしい日本語のハードルを下げる方策。
- 素人でも救護活動ができるよう AED が開発されたように、やさしい日本語に精通していなくても使えるようなツール(例えば、表現テンプレートをまとめたポスターやブックレットなど)などが開発されると便利だろうと思います。
- 自治体レベルの取り組みとしては、仕事や家族、交友関係から、日常的に「やさしい日本語」が活用できる場面に立ちながらも気付いていない、知らない団体や個人に向けた、啓蒙やレクチャの推進、防災活動の一環での宣伝 など
- やさしい日本語 Ver.を標準にする。
- 日本人とのコミュニケーションの場を増やす
- 市民向けに「やさしい日本語」を周知するにあたって、「やさしい日本語」とはどういうもので仕様上の注意事項、ルール等を具体的に示す。その際そのルール等に基づく使用例文を災害時・急病時等の緊急時などの様々な場面ごとに具体例を提示する。
- まずは我々自身がわかりやすい日本語を使うことが第一だと思います。またやさしい日本語を使うがために、情報が過大にならないように注意することも大事かと思えます。西東京市の HP を拝見しましたが、トピックなどが横並びに多数表示されますので、最初にある程度の知識がないと目的の情報にたどり着けません。外国の

方にとっては更に大変なのではないでしょうか。

- 日本語は難しいとゆとり教育からの日本人もかなり分からない人が居ます。公的教育から見直さないと日本人すら日本語が分からなくなっていると思います。
- 外国人と知り合いになったら紹介したいので入手方法を知りたいです。
- 母国とは違うルールなどをきちんとつたえることがのぞましい。
- 特に災害予防や災害があった時の対応については周知を徹底するよう広報事業を展開する。
- 難しいから日本語であり、やさしい日本語に固執する必要がない。やさしい日本語が日本人にとっては難しい。
- 対外国人に対して、使用するのはいが、対日本人に対しては、どうなのか？日本語の良さを、なくしてしまうのでは？

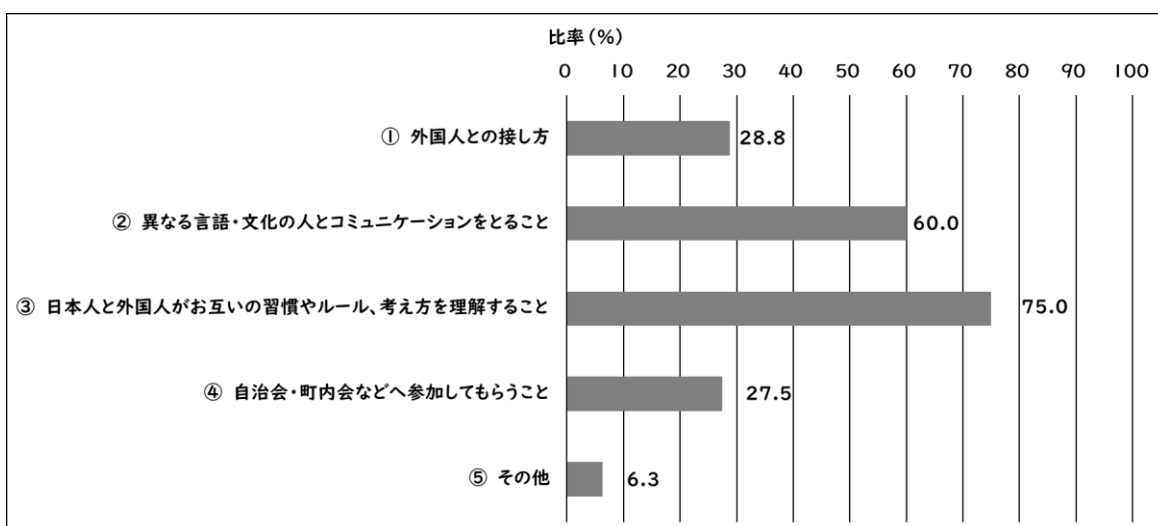


問11 外国人と地域で共に暮らすとき、難しいと思うことはどのようなことですか。  
(複数回答可)

「日本人と外国人がお互いの習慣やルール、考え方を理解すること 60 件(75.0%)」が最も多く、「異なる言語・文化の人とコミュニケーションをとること 48 件(60.0%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 80  
回答件数(件) 158

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 外国人との接し方	23	28.8	3
② 異なる言語・文化の人とコミュニケーションをとること	48	60.0	2
③ 日本人と外国人がお互いの習慣やルール、考え方を理解すること	60	75.0	1
④ 自治会・町内会などへ参加してもらうこと	22	27.5	4
⑤ その他	5	6.3	5



#### 【⑤その他】

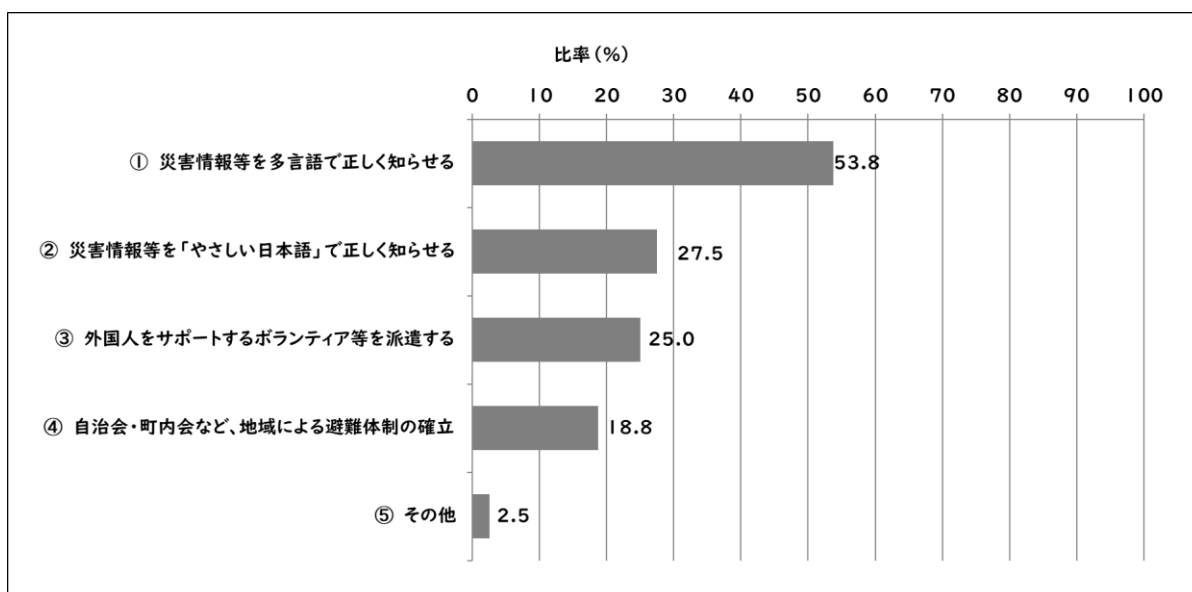
- 生活様式の違い
- 外国人が増えてくると安全性が脅かされる気がして怖い。
- お互いの警戒心を解き、距離感を縮め、信頼感を醸成すること。都会に暮らす中では日本人同士でも難しいですが、しばしば道ですれ違うような距離感の人同士が自然に挨拶を交わせるような、緩やかな関係性ができていると望ましいと思います。
- 困りごとは何かがわからない状態で、お手伝いしたいと思いつつも切り出し方がわかりません。外国人から困りごとを伝えていただけるように、提示していただくことで必要な支援がわかる「お願いカード」・・・例えば「初めて、隣に引っ越してきました〇〇です」「わからないことがあります」「教えていただけますか」「ごみの出し方がわかりません」などカードにしたものを行政でお渡しして活用いただくこともいいのかと思いました。
- 外国の方が集まった場合に、その国の習慣をまかり通すことが無いように、良い関係性を築いていけるかというのが、もし身近に外国の方がいた場合心配になります。
- 生活習慣の違いから、外国人の方とトラブルになってしまうこと
- 日本社会においては外国人への差別がまだ存在していると思う

問12 災害等が発生した際、言語の違いにより、外国人が正しい情報を取得するのが困難な可能性があります。外国人に対してどのような方法での手助けが有効だと思いますか。

「災害情報等を多言語で正しく知らせる 43 件(53.8%)」が最も多く、「災害情報等を『やさしい日本語』で正しく知らせる 22 件(27.5%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 80  
回答件数(件) 102

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 災害情報等を多言語で正しく知らせる	43	53.8	1
② 災害情報等を「やさしい日本語」で正しく知らせる	22	27.5	2
③ 外国人をサポートするボランティア等を派遣する	20	25.0	3
④ 自治会・町内会など、地域による避難体制の確立	15	18.8	4
⑤ その他	2	2.5	5



### 【⑤その他】

- 上記はいずれも大切と思います。最悪通信が遮断された場合に、地域ごとに頼れる日本人の知り合いが居て、その人が「やさしい日本語」をある程度使えるような体制があると望ましいと思います。ただ普通に暮らす中でそのような関係構築は難しいので、少し行政からの世話焼きがあると良いのかなと思います。そのような草の根のネットワーク構築と、メディアを通じた行政からの情報発信の多言語・やさしい日本語化、受信環境の世話（必ずしも電子的な手段だけでなく、地域の多言語版防災掲示板の設置と周知、などでも良いと思います。）、外国人同士のコミュニティを経由した情報伝達経路の確保、などの重層的サポートが望ましいのだと思います。
- 絵（イラスト）で伝える
- ピクトグラムで示す。



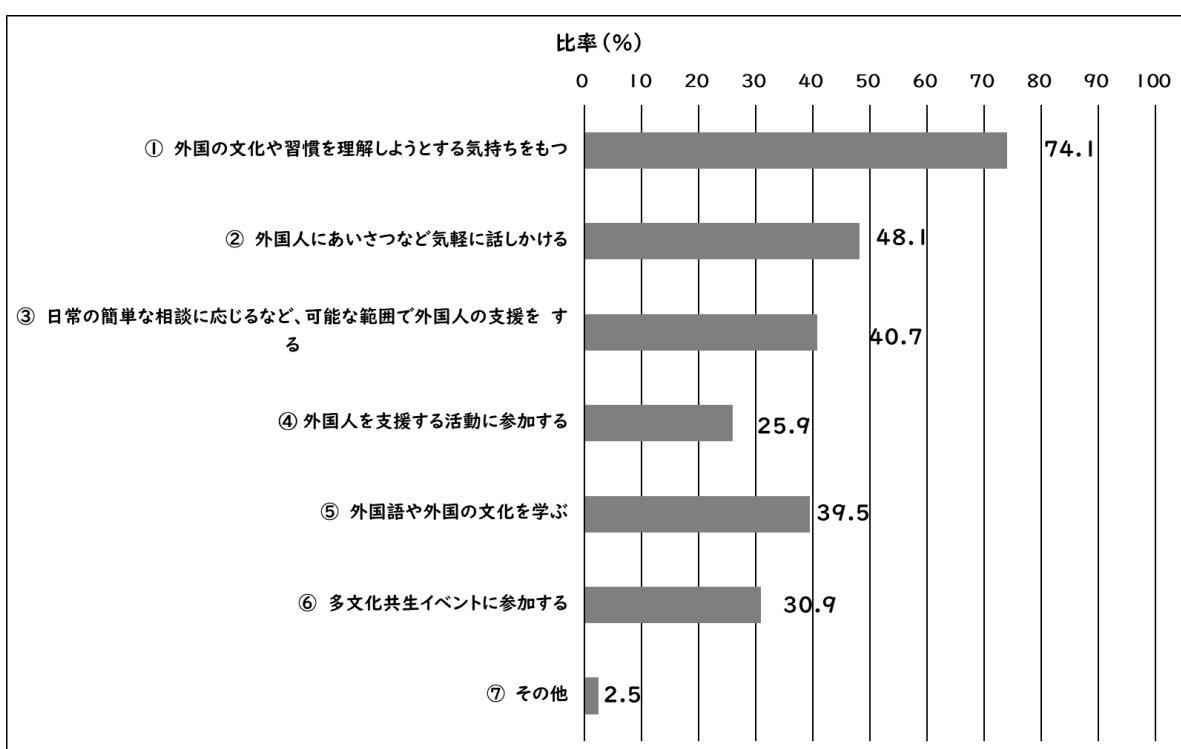
問13 日本人と外国人がお互いにより住みやすいまちにするために、あなたができることは何だと思いますか。(複数回答可)

「外国の文化や習慣を理解しようとする気持ちをもつ 60 件(74.1%)」が最も多く、「外国人にあいさつなど気軽に話しかける 39 件(48.1%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 81

回答件数(件) 212

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 外国の文化や習慣を理解しようとする気持ちをもつ	60	74.1	1
② 外国人にあいさつなど気軽に話しかける	39	48.1	2
③ 日常の簡単な相談に応じるなど、可能な範囲で外国人の支援をする	33	40.7	3
④ 外国人を支援する活動に参加する	21	25.9	6
⑤ 外国語や外国の文化を学ぶ	32	39.5	4
⑥ 多文化共生イベントに参加する	25	30.9	5
⑦ その他	2	2.5	7



【⑦その他】

- 多言語翻訳アプリなどを使えるようにしておく。
- 外国人に限らず困っている人がいて、支援を求めているのなら、それに応えるように動きたいと常々考えています。
- 挨拶は基本ですが、まずは向こうの人達からの働きかけが無ければ日本人は尻込みしますよ。積極的な日本人は鬱陶しさから敬遠されると思いますしかと言って中華街みたいな地区からカナダの様に周りの地区の住民が困るような移民的な感じで地域乗っ取りも困りますけど。上手く住み分けをしてお互いが Win-Winになれるなら良いですが、普通に日本で住む外国人は転売屋も多く地区的にも日本人が困る事になるのは御免ですね…
- 特になし



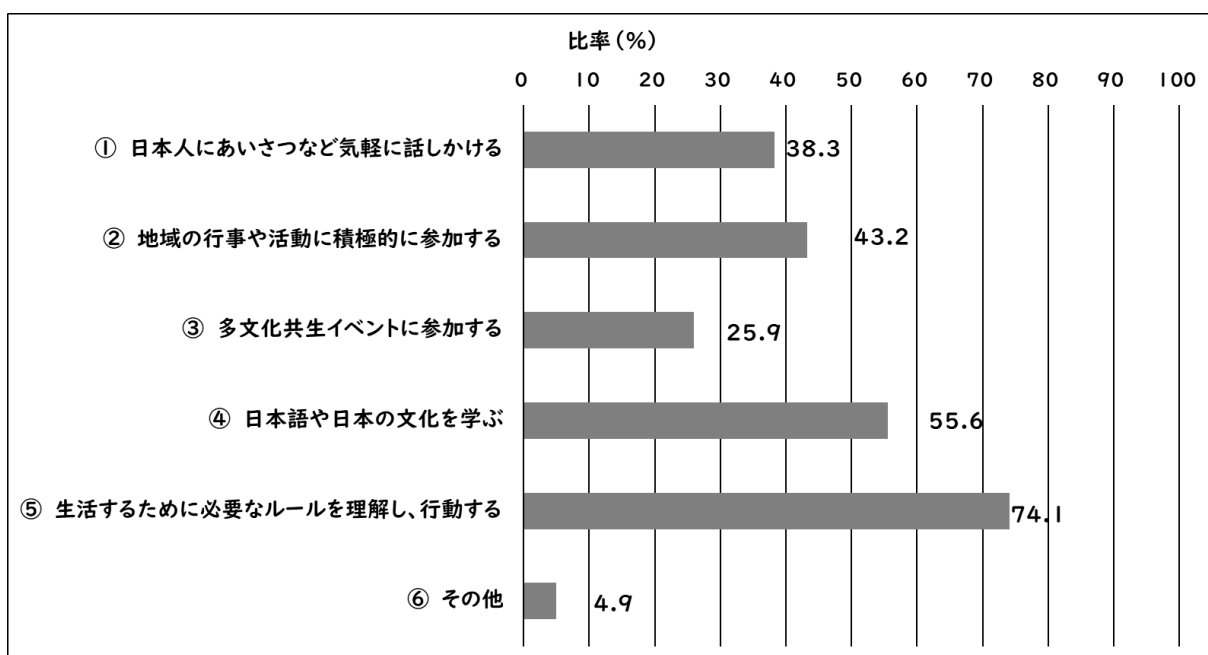
問14 日本人と外国人がお互いにより住みやすいまちにするために、外国人に期待することは何ですか。(複数回答可)

「生活するために必要なルールを理解し、行動する 60 件 (74.1%)」が最も多く、「日本語や日本の文化を学ぶ 45 件 (55.6%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 81

回答件数(件) 196

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 日本人にあいさつなど気軽に話しかける	31	38.3	4
② 地域の行事や活動に積極的に参加する	35	43.2	3
③ 多文化共生イベントに参加する	21	25.9	5
④ 日本語や日本の文化を学ぶ	45	55.6	2
⑤ 生活するために必要なルールを理解し、行動する	60	74.1	1
⑥ その他	4	4.9	6



【⑥その他】

- ゴミ拾いなど簡単なボランティア
- 近所の人と交流を持ってもらう
- お互いの思いやり
- 特になし

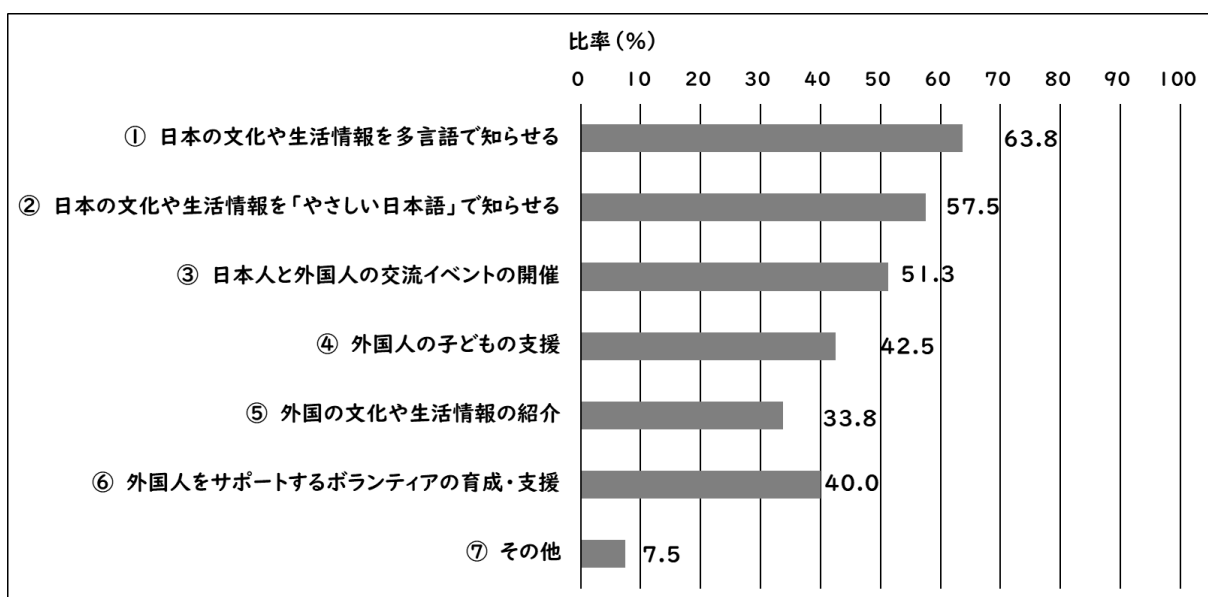
問15 日本人と外国人がお互いにより住みやすいまちにするにあたり、市がより充実させるべきだと思うことを3つ選択してください。

「日本の文化や生活情報を多言語で知らせる51件(63.8%)」が最も多く、「日本の文化や生活情報を『やさしい日本語』で知らせる46件(57.5%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 80

回答件数(件) 237

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 日本の文化や生活情報を多言語で知らせる	51	63.8	1
② 日本の文化や生活情報を「やさしい日本語」で知らせる	46	57.5	2
③ 日本人と外国人の交流イベントの開催	41	51.3	3
④ 外国人の子どもの支援	34	42.5	4
⑤ 外国の文化や生活情報の紹介	27	33.8	6
⑥ 外国人をサポートするボランティアの育成・支援	32	40.0	5
⑦ その他	6	7.5	7



#### 【⑦その他】

- 外国人が生活するにあたって何を求めているのかを把握する(2件)
- スーパーやコンビニ、イベントなどで多国籍料理を積極的に取り入れ、販売したり紹介したりする。
- 外国人の方々が何をしているのか、どのような生活を西東京市でしているのか全く分からないので、われわれ日本人が外国人をサポートする前に、どんな外国人がどのような活動をされている(生活をしているのか)を知りたいです。



- 子どもは保育園、学校など子供社会の中で地域に馴染んでいく機会を持てると思いますが、例えば、母親が外国人、父親が日本人の場合、母親だけが取り残されてしまう傾向があるように思います。保護者会に出席しても蚊帳の外で、子供の教育も関わりたくても関われない、結局父親が必要な連絡等だけ学校と交わす程度になってしまい、母親が言葉の壁などで教育に関わりづらい状況から子供の二次障害を生む危険性もあると思います。子供の保育、教育と一緒に母親へのアプローチも必要だと思います。



問16 その他、多文化共生についてご意見がありましたらご自由にご記入ください。

【イベントについて】

- 多文化共生の国際交流・イベントの開催、野外、公園などでのピクニック型が望ましい。
- 外国人との関わりはきっかけがないと難しいと思う。また文化の違いにより嫌な思いをさせたり、したりするかもしれない。センターの利用やイベントを通じて多文化共生できればと思う。
- 市でも積極的に交流を持つイベントを開催する。
- イベントや養成講座は平日の夜間や土日にも開催して欲しい。ボランティアも市が積極的に募っているのか否かも分からない状況なのでもっと広報して欲しいです。

【日常的に交流できる場を設ける】

- 理想を言えば、日常生活に当たり前のように溶け込んでいて、お互いの違いは気にせず、地域の住人として対等な関係・意識であることが大切だと思います。多文化共生の考え方を広めるためには、それを前面に押し出したイベント・啓蒙も必要ですが、日常の中での自然な接点・交流が増えるような取り組みを期待します。
- 多文化共生センターも重要かと思いますが、日頃みなさんが良く集う公園や図書館などでも交流ができるような環境づくりも必要かと感じました。
- どんどん外国の方と接する機会が増えていけばいいと思います。私もオーストラリアにすんでいましたが、オーストラリアの方は外国人に寛容でとてもフレンドリーに接してくれましたし、わかりやすいように話してくれましたし、根気よく聞いてくれました。そういう施設に行かなくても、ご近所さん、スーパー、医療機関でもっとフレンドリーに接することができたらいいのにと感じました。
- 大々的な交流イベントという形ではなく、日常的にいつでも交流できる場があると良いと思います。その場所に行けば、外国人同士も交流できるし、日本人同士も交流できるし、外国人と日本人も交流できるような形で、子供連れでも行きやすいように配慮した形が良いと思います。

【お互いが歩み寄る・多様性を理解する】

- 多様性を理解し、お互いを尊重する。(4件)
- お互いが歩み寄る必要があると思う
- 仕組みは必要だが、一人ひとりが違いをある程度容認する意識が重要。
- 日常生活におけるルール(ごみだしなど)をきちんと理解してもらえば、お互い気持ちよく生活ができるのではないかと思います

【外国人へのサポート】

- 外国人へのサポートは、市内の治安維持の観点からもとても重要な事だと思う。
- 多文化共生について、これまでかかわることが無くあまり意識しておりませんでした。西東京市にも多くの外国人が住んでいることを知ったため、何かしらかわりが持てればいいなと思いました。私が外国で暮らすことになったらと考えてみましたが、やはり言葉の壁や文化の違いの壁が存在するのだろうなと思います。そんな中で、気軽に相談できる場所やサポーターがいたら、安心感も増し、少しは暮らしやすくなると思います。

### 【情報発信について】

- 情報を正しくわかりやすくキャッチできるように、情報配信には工夫が必要だと思います。特に命にかかわることやお金のことなどはしっかりと伝わる仕組みがあったほうが良いと思います。
- 日本は文化や生活情報を多言語で発信している取り組みを知っていますが、翻訳機で翻訳したものがあって、文法の間違いなどで多言語の情報が逆に伝わらない場合があります。そのため、多言語での情報発信より、「やさしい日本語」での情報発信を先に取り組んだ方がよいと思います。

### 【その他】

- とにかく周知するための広報活動を積極的に実施する。いろいろな機会を捉えて催事に参加するように呼び掛ける。
- 自分はスペイン語を話せますが、これまでのアンケートの問いを見直してみると、なかなか外国人をサポートするボランティアの育成・支援の機会があることについて知らなかったのもっと市民に身近に広報して欲しいと思う。
- 現在は外国人との交流は有りませんが、仕事で 30 回以上 10 数か所の国に行きました。その時の経験では、生活習慣等の違いが大きいので、外国人の生活習慣との違いのパンフレットを日本語と多言語で作成したら良いのでは。特に日本人と外国人の考え方の違いを周知させる必要があると思います。
- まず多文化のまえに、国内でも地域でのコミュニケーションは減っている。それは日本人同士でも危険性や安全面を考慮した結果である。その共生とするならば、『お互いルールを守りながら、適度な距離間で人付き合いをする』ことだと考える。
- 『西東京市に住む外国人住民の状況』を見るまで、こんなに外国人が住んでいるとは思ってなかったので驚いた。とくに中国人が多いようだが、どこにいるのか分からない。逆に言えば、こちらが気付かないうちに馴染み過ぎているようで、恐ろしいし怖い。こんなに中国人が住んでいるなら、もっと市などでも中国人が住んでいるということをアピールしても良いと思う。
- 中華圏ではない話だが、市内に積極的に話しかけて来る外国人（ヨーロッパ圏だと思う）がいる。日本人同士でも積極的にコミュニケーションを取っているわけではないので、はっきり言って不愉快だし怖い。普通に生活していれば、それなりにコミュニケーションを取る。自身はあくまで自然に仲良くなるほうが心地良く、変にゴリ押しされると拒絶感が強まる。無理して仲良くなろうとしなくて良いと思う。
- 多文化を目に付く場所に置いておいたり、触れたいと思ったときにすぐに触れられる場所があるのはとても良いと思う。カルディ（食品スーパー）でインド料理や韓国料理など、多国籍の食べ物はよく楽しんでいる。
- 今までの経験上、学校で、外国人の子供たちや保護者の方が苦勞されているのを多々見えています。日本人のお母さんも、手助けする気持ちがある方がたくさんいると思いますが、ご一緒する場が少ないので、学校でも協力をお願いしてみても良いと思います。
- 自身の身近には外国人が居ないため、あまり的確なお答えではなかったかと存じます。ご容赦頂きたくお願い致します。
- 先ずは、標識等の多言語改革を。オリンピック開催時にまでにはそうなる予定ではなかったのか？

- 多文化共生のまちづくりの必要性を感じない
- 外国人への偏見を無くす。
- 例えばイベントを計画しても仲立ちをして誘いをしてエスコートを出来る組織が必要かと思われます。宗教も違うし、横に一緒にしようとしても無理がある、何が良いか分からない、まつり？
- 外国人と接する時に話しの中で「日本ではこうです」と伝える。
- 自治体だけではなく、NPO 等を活用すべき。また単年ではなく、複数年の契約を検討した方が良いと考えます。
- 多文化共生を推進するには、日本人だけの意見を聴取するだけではなく、そこに住む外国人の意見をもっと反映させることが必要ではないでしょうか。
- 外国人による巨悪犯罪がおきないような環境(社会・人間・まち・ふれあい等)が重要だと思う。
- 在留外国人のために、西東京市図書館は外国語の図書を充実した方がいいと思います。私は外国人留学生として生活しています。英語より日本語の方が伝えやすいと思います。留学生だけでなく、多くの外国人は日本語がわかるので、日本語での交流はほとんど問題ありません。
- 特になし(3件)

## 【市政モニターについてのアンケート】

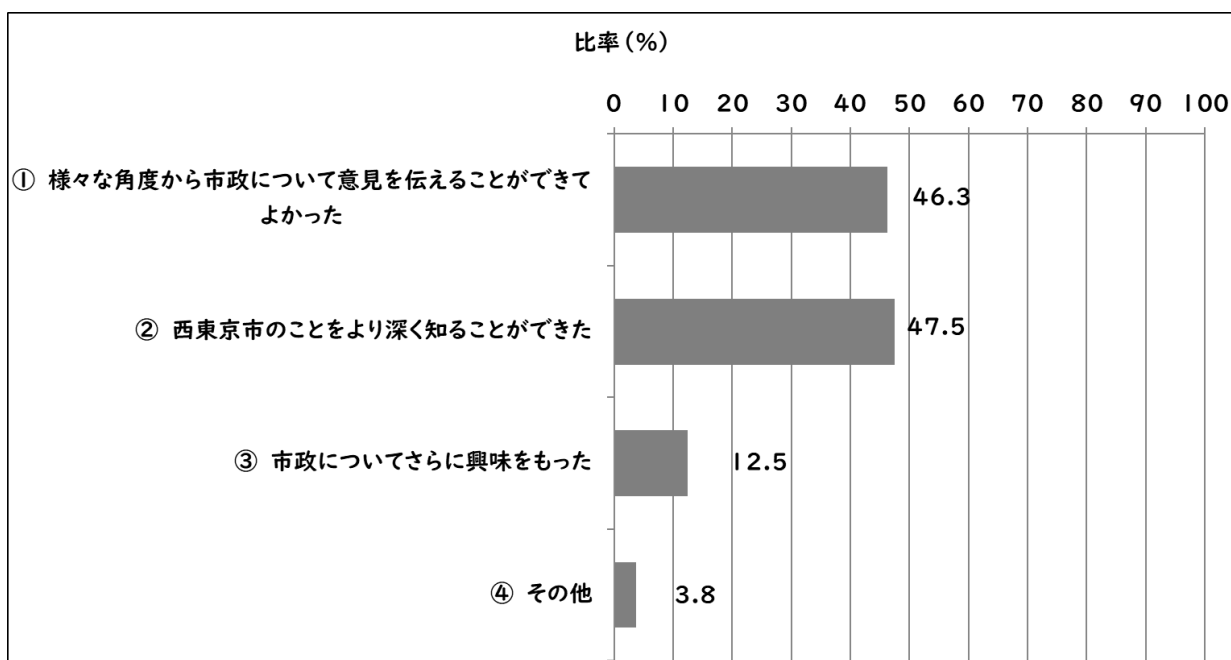
問1 市政モニター制度に参加されてどうでしたか。

「西東京市のことをより深く知ることができた 38 件 (47.5%)」が最も多く、「様々な角度から市政について意見を伝えることができてよかった 37 件 (46.3%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 80

回答件数(件) 88

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 様々な角度から市政について意見を伝えることができてよかった	37	46.3	2
② 西東京市のことをより深く知ることができた	38	47.5	1
③ 市政についてさらに興味をもった	10	12.5	3
④ その他	3	3.8	4



### 【④その他】

- 興味のない内容は苦痛だった。
- 市政について意識するようになった。

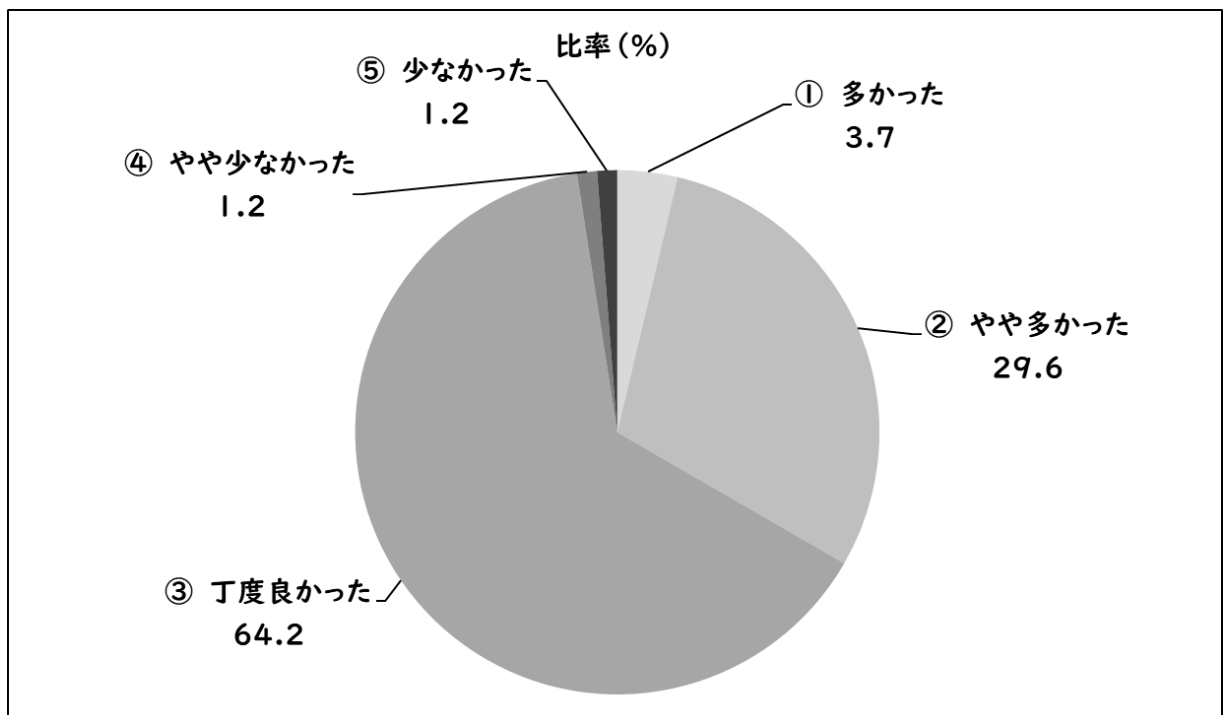
問2 調査票の設問数はいかがでしたか。

「丁度良かった 52 件(64.2%)」が最も多く、「やや多かった 24 件(29.6%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 81

回答件数(件) 81

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 多かった	3	3.7	3
② やや多かった	24	29.6	2
③ 丁度良かった	52	64.2	1
④ やや少なかった	1	1.2	4
⑤ 少なかった	1	1.2	4



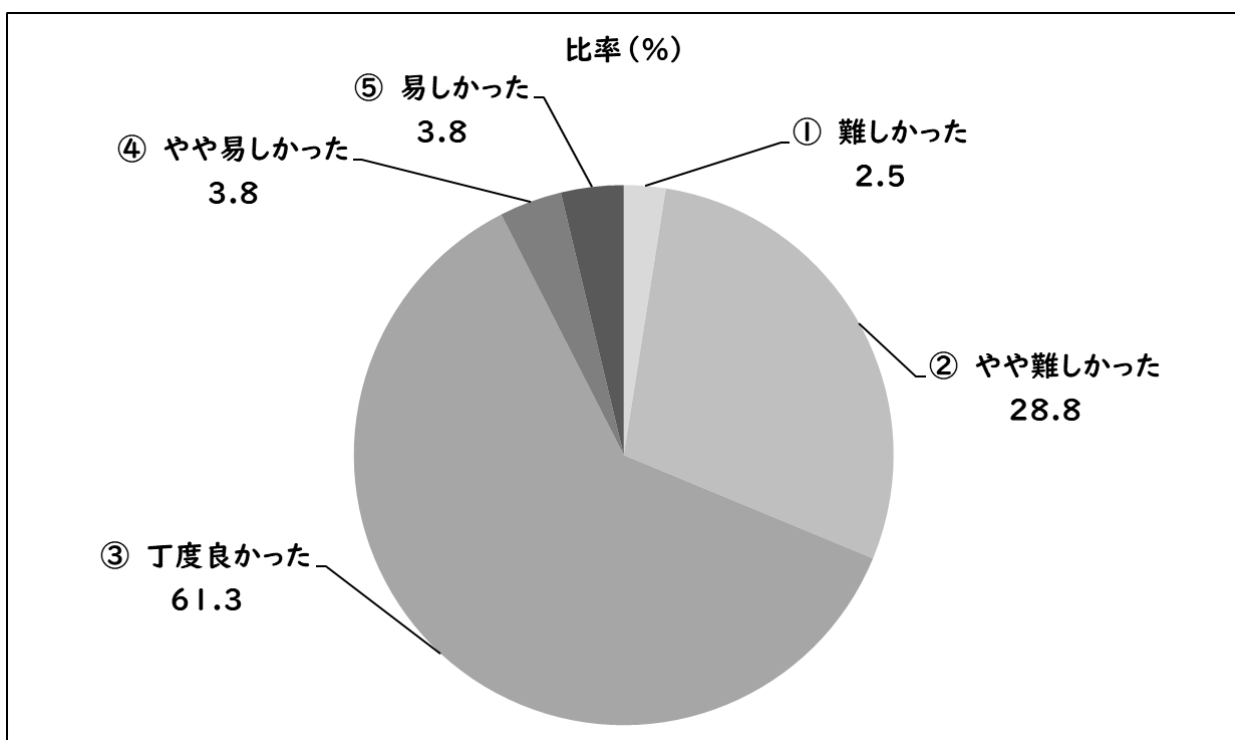
問3 調査票の内容の難易度はいかがでしたか。

「丁度良かった 49 件(61.3%)」が最も多く、「やや難しかった 23 件(28.8%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 80

回答件数(件) 80

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 難しかった	2	2.5	5
② やや難しかった	23	28.8	2
③ 丁度良かった	49	61.3	1
④ やや易しかった	3	3.8	3
⑤ 易しかった	3	3.8	3



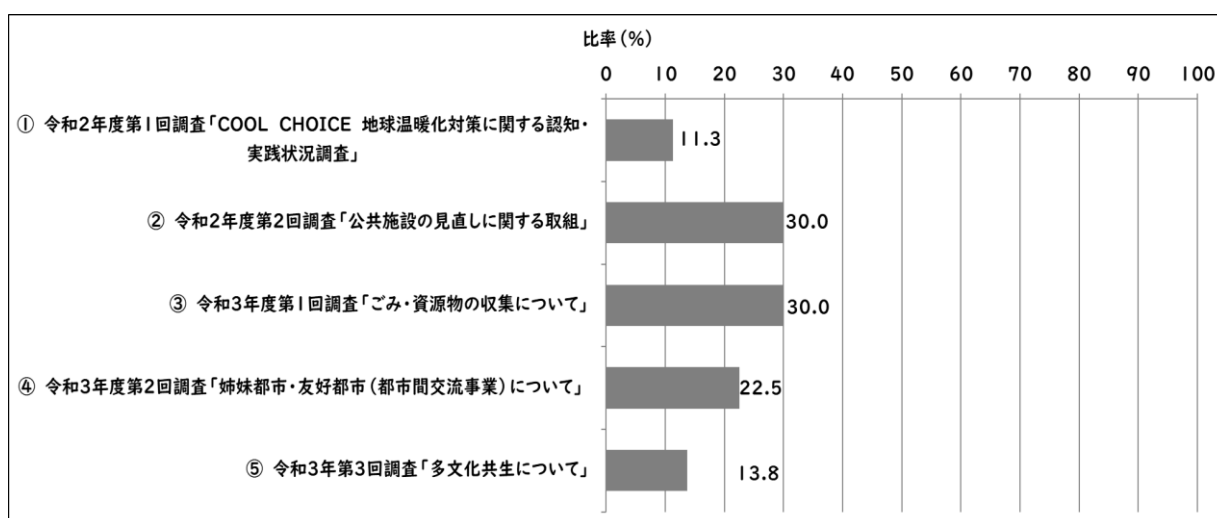
問4 2年間で、全5回の調査に御協力いただきましたが、特に印象に残っているテーマはどれですか。

「令和2年度第2回調査『公共施設の見直しに関する取組』24件(30.0%)」と「令和3年度第1回調査『ごみ・資源物の収集について』24件(30.0%)」が同率で多い結果となりました。

回答者数(人)80

回答件数(件)86

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 令和2年度第1回調査「COOL CHOICE 地球温暖化対策に関する認知・実践状況調査」	9	11.3	5
② 令和2年度第2回調査「公共施設の見直しに関する取組」	24	30.0	1
③ 令和3年度第1回調査「ごみ・資源物の収集について」	24	30.0	1
④ 令和3年度第2回調査「姉妹都市・友好都市(都市間交流事業)について」	18	22.5	3
⑤ 令和3年第3回調査「多文化共生について」	11	13.8	4



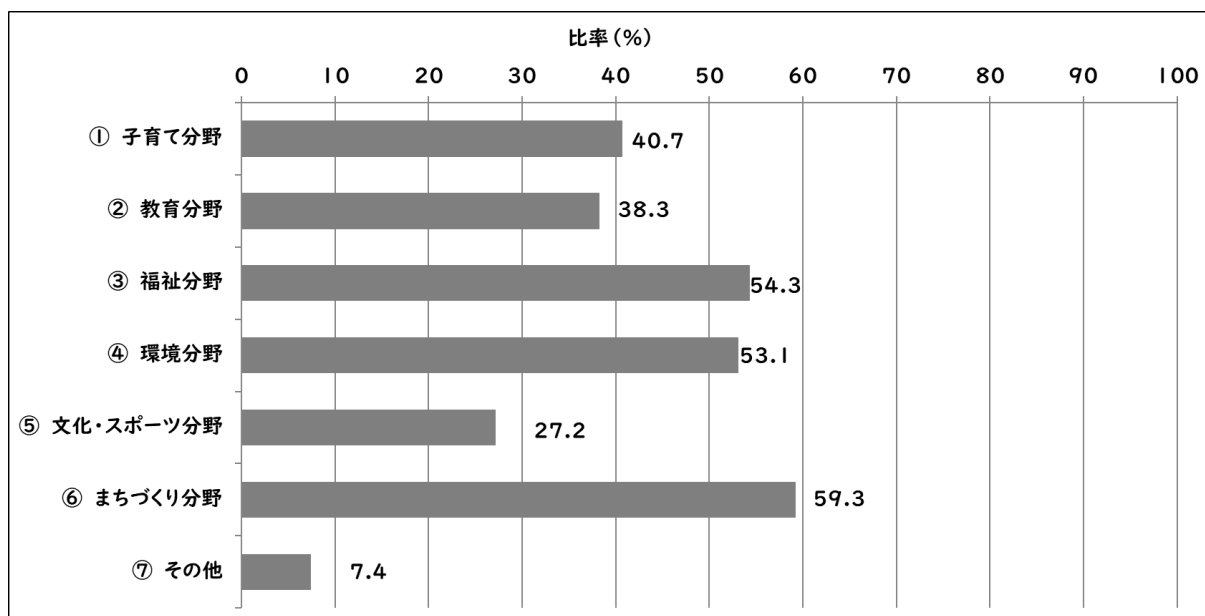


問5 今後市政モニターの調査で、どのようなテーマについての調査が必要だと思いますか。3つ選択してください。また、調査で具体的に取り上げてほしいことを思いつく方は併せてご記入ください。

「まちづくり分野 48件(59.3%)」が最も多く、「福祉分野 44件(54.3%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 81  
回答件数(件) 227

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
① 子育て分野	33	40.7	4
② 教育分野	31	38.3	5
③ 福祉分野	44	54.3	2
④ 環境分野	43	53.1	3
⑤ 文化・スポーツ分野	22	27.2	6
⑥ まちづくり分野	48	59.3	1
⑦ その他	6	7.4	7



【⑦その他】

- LGBT についてなど、シェアハウスについてなど
- 婚活支援
- 現在市が課題となっているテーマ
- 市内の医療体制や今後の市政についての広報のあり方

## 【具体的に取り上げてほしいこと】

### <子育て分野>

- いろいろな事情での生活困窮者とその子供達について
- 西東京市と周辺の市との違いで西東京市に取り入れる施策(子ども)
- 危険だと思ふ場所はあるか
- 子育て支援
- 子供を増やすため
- 幼稚園・保育園等の入園状況など
- 私自身の実体験ではありますが、1歳について保育園に非常に入りづらい状況があると思います。公園が多く、子育て支援に関する情報の発信も充実しており、子育てしやすい環境ではあると思うのですが、保育園に入りづらい状況だと、暮らしづらいと思いますので保育園に入りづらい状況を打破するための調査を取り上げてほしいです。
- 子育ての悩み
- ヤングケアラー

### <教育分野>

- 小・中・高での教育環境について
- オンライン授業について
- 小・中・高生の学力
- 不登校

### <福祉分野>

- 西東京市と周辺の市との違いで西東京市に取り入れる施策(福祉)
- 市の健康診断の有料化について
- 老人ばかり優遇している市政について
- 健康について
- 老人介護問題
- 老人が住みやすい環境

### <環境分野>

- 今後西東京市として取り組みを進めようとしている施策(環境)
- 公園中に日陰になるベンチ少ない
- SDGsについて
- 温暖化対策の実例等
- 環境やゴミ問題
- 喫煙所等、喫煙
- 公園の整備について
- 緑を増やすために
- カーボンニュートラル
- 「ゴミの収集について」は定期的にやるべきだと思う

### <文化・スポーツ分野>

- 交流の場・大会を増やす

- スポーツ活動・運動習慣

<まちづくり分野>

- 西東京市の道路事情は非常に悪いと感じている。人口が増え車が増えますます渋滞が激しくなると予想される。近隣の市の対策（渋滞対策、道路の拡幅等）を調査して参考にして貰いたい。
- 都市農業や緑が多くある町づくり
- 市内の自転車専用道路を設ける事での危険性、市内の道路整備区画整理等について
- 公共交通網の充実度合い
- 子供を育てていく中で、道の狭さが気になっています。西東京市だけの問題ではないと思いますが、交通事故にあいやすい場所など、何かしら対策を打ってほしいと思っておりますので、そのような調査などもできるのであれば、取り上げてほしいです。
- 再開発の検討
- 公共交通機関の再検証
- 道路事情の把握と整備
- 南口の再開発
- 道路整備（生活道路）や簿違反安全面について
- 人を呼べる魅力ある街づくり
- 公共交通
- 治安の問題

<その他>

- 防災について（2件）
- コロナ関係について（2件）
- 西東京市の将来構想・計画など
- 駅前にアーケード
- これからも、必ずあると思うが、給付金の考え方。18才以下の子供を持つ家庭には、給付金は必要ない。税金を納めているものに給付金で還元を！
- 性教育や性暴力など
- 市役所庁舎の建て替え
- 図書館
- 救急関連事業に関する意識調査
- 無料自転車置き場
- 施設の改修等
- まちの活性化
- 全てにおいてコミュニケーションを図れる場が必要と思うのでコミュニケーションをどうとるのかなど取り上げて欲しい。
- 大型施設の誘致について。
- はなバスの運営をよりよくするための意見徴収
- 若い人とかが地域活動に参加する方策に関するアンケート
- 特になし

問6 その他市政モニターへのご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<謝礼について>

- モニターでいただいた逸品グルメ券ですが、使える場所が限られ過ぎていて困りました。特に私は、送っていただいた使用できるお店の一覧表を失くしてしまい、その情報をネットで探しましたが古い情報しかなく、その情報をたよりに過去逸品で選ばれたお店数件で使えるか聞きましたが使える店がなく、結局使えずに終わり非常に残念です。せめて、田無駅上の店舗ぐらいいは使えたり、使えるお店を周知されてもよいのではないかと思います。
- 頂いていて申し訳無いが、お食事券の使えるお店を開拓して欲しい。
- 前回「逸品グルメ券」の謝礼をもらったが、使用できない店があったので、図書券など、どこの店舗でも使用できる商品券がよい。

<調査回数等について>

- モニターなので仕方がないことだとはおもうが、考えたり文字を打ち込むのに結構な時間が掛かる。これでは実際に働いている世代がまともにアンケートに答えられないと思った。市と市民の間に距離感があるように思う。設問をもう少し簡易的にし回数を増やすなどすれば解消されるかと思う。回数が増えればそれだけ集計が大変になるとは思いますが、気軽にアンケートに答えられるほうがもっと市民の生の声が聞けるのではないのでしょうか。
- 人によりけりかもしれませんが、より分割して、少ない質問でより高い頻度（毎月 or 隔月）でとった方が、楽に回答できると感じました。リズムができることと、現在の質問構成だと（特に興味を持った質問は）記述が多めのため、それなりに1回の回答に時間がかかりました。（その場合、毎回ごと集計ではなく、4 半期や半期にまとめて集計が良いと思います）

<設問について>

- 5 択とかは、ニュアンスが微妙に異なるので困った。
- 生活に密着しているアンケートがもう少しあるといいなと思った
- 選択肢が誘導的で設問に対して否定的な意見を選択出来ないのが不満。必ずしも、それが有りきの質問は不快感が凄い。しかも永住するつもりの方の市民の声を本気で聞く気があるなら不満や否定意見に具体的な意見や例がある場合はそれを書き出したいのは普通です。アンケートを書かせる項目や設問数が多いなら、尚更に市民の声を面倒臭がらず聴いてください。此方も時間を作って書いています。より良く、長く子供達と住む為に良い地区で他に誇れる様にして行きたいだけなので。是非宜しくお願いします。集計ご苦労様です。

<調査結果について>

- （特にコロナ関係）アンケート結果は公表されましたが、アンケート回答に対する市の対策（予定）が示されないのが非常に残念でした。アンケートは、ただとって集計するだけでは何も役に立ちません。モニターが出したアンケート回答を参考に、何がどんな風変わったのか・・・そういったことを市報で紹介していただけると、モニターをしたいと思う人も増えますし、モニターをした人もやって良かったと思えると思います。

- アンケート結果を通じて、改善されたことや改善の検討に上がっていることなどあれば、モニターに情報開示することでやりがいを感じやすいと思います。
- 各調査の自由意見等の調査結果について、その紹介だけではなくそれをどのように反映したのか、又は今後どのように反映していくのかをその理由を含めて発信してもらいたい。

#### <意見交換について>

- 市政モニター向けのレクチュア、市政モニター同士の意見交換
- コロナ禍なので難しいかもしれないのですが、実際に課題などを講義のような形で伝え、参加者でディスカッションをするというような機会もあると、より市政モニターとしての意義などを感じやすいかと思います。

#### <その他>

- 思うままに書いた意見も丁寧に載せていただきありがとうございました。良い経験になりました。もう56年以上暮らす大好きなこの地をさらに素敵なものにしていきたいと思っています。
- 市政モニターに参加して大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 勉強になりました。
- 良い体験をさせていただき、ありがとうございました。
- 今回、初めてこのような機会に参加させていただきましたが、私にとって、貴重な時間となりました。まだまだ無知なことも多いですが、西東京市のことを深く知り、より良い街になるように何かしら関わりを持てたらいいなと思っております。ありがとうございました！
- 貴重な体験をさせていただきありがとうございました。これからもモニター制度を継続していただきたいと思いました。また参加したいと思っております。今後とも、よろしく願いいたします。
- ありがとうございました。
- 毎回、全く知らない事が多く、モニターする事によって知る事ができました。ありがとうございました。
- 貴重な経験ができました。ありがとうございました。
- 市政に興味を持ち、地域における日々の生活をより深く考える良いきっかけになりました。市内で買い物や移動をする際、街を見る目線が変わったと感じます。しばしば回答が滞り申し訳有りませんでした。今回は締め切り延長いただきありがとうございました（やはり年末年始は立て込むため。。）
- おつかれさまでした
- 来年度も参加したいです!!（参加方法等があれば教えていただきたいです!）
- 市政について20年以上西東京市に住んでいるが知らないことが多かった。中学や高校生の年代から市外で過ごす時間が圧倒的に多くなり、西東京市の状況を把握する機会が非常に少なくなると思うので、小学校や中学校と協力して、西東京市がどのようなことに取り組んでいるのかを知る機会があれば良いと思いました。
- 西東京市では、家族世帯や高齢者へのフォーカスは充実していると思うが、それ以外の人に対しては冷たい印象がある。一人暮らし、シェアハウス、LGBTなどについて、もう少しフォーカスしても良いかと思う。写真家など作家が住んでいたリアニ

メーション会社があったりと、自己実現や将来の夢を目指して生活している人も多いのではないだろうか。そういったところにも焦点を当てると、より色々な世帯に優しい街になるのではないかと思う。多文化共生など外国人が市の発展に直接影響しているのだろうが、もう少し多様な日本人に対してもフォローしてほしいと感じた。

- メールを、うっかり見逃してしまう事があり反省。長く住んでいるのに市で色々な行事、施設、行政努力頂いていることにあまり気が付かなかったです。今後は活用していきたいと思います。
- 市で嘱託の経験があり、仕事を通して市の実情を知ったこともある。そんないろいろ参考になったことを市政モニターとして意見に反映させて貰っている。
- エコ特に電気自動車普及へ向けての取り組み
- 田無、保谷、ひばりが丘方面を利用することが少ないので、なじみのない町であるように感じます。田無、保谷、ひばりが丘とはどんな町なのか、もっと知りたいのと、田無駅南口の開発についての広報をお願いしたいです。あとは、他市とのサービスを利用できる機会が欲しいです。
- 特にありません。(3件)



西東京市